

平成 22 年 5 月 19 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2007 ～ 2009

課題番号：19330038

研究課題名（和文） 「子どもの安全保障」の国際学的研究  
—子どもの日常性回復をめざして—

研究課題名（英文） International Studies on the Security of Children

研究代表者

初瀬 龍平 (HATSUSE RYUHEI)

京都女子大学・現代社会学部・教授

研究者番号：40047709

研究成果の概要（和文）： 現在の国際関係のなかで児童労働、ストリート・チルドレン、子ども兵士、人身取引、国際養子、母子健康、未就学、戦争被害などを検証し、国際政治理論との関連で問題を整理し、BHN 論、国際レジーム論の積極的意義を明らかにした。

研究成果の概要（英文）： Focusing on child labor, street children, child soldiers, human trafficking, transnational adoption, infantile health, non-schooling, and suffering from war damages, in the international context, this project highlights the significance of BHN and international regime approaches for the survival of those children and their welfare.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	7,500,000	2,250,000	9,750,000
2008 年度	6,400,000	1,920,000	8,320,000
2009 年度	1,400,000	420,000	1,820,000
年度			
年度			
総計	15,300,000	4,590,000	19,890,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：児童労働、ストリート・チルドレン、子ども兵、人身取引、未就学、母子健康、養子縁組、経済制裁

## 1. 研究開始当初の背景

- (1) 「人間の安全保障」概念を「子どもの安全保障」に適用することが重要であると判断された。
- (2) グローバル化と国際関係の日常性の視点から世界の子どもをみる視点が緊要であると思われた。

- (3) 子どもの未来を切り開く国際レジームが形成されつつあった。

## 2. 研究の目的

- (1) 途上国における母子健康、人身売買、国際養子縁組、児童労働、ストリート・チルドレン、子ども兵士、未就学、軍事化

の問題の現状を明らかにすること。

- (2) 上記に関する国際的取り組みの枠組みを学際的に明らかにすること。
- (3) 国家安全保障と人間の安全保障の諸議論をもとに、「子どもの安全保障」の理論形成を目指すこと。
- (4) 研究成果を学術的な報告書、および一般的な啓蒙書として公刊すること。

### 3. 研究の方法

- (1) 関係文献・資料の収集・分析
- (2) 現地調査と資料の収集・分析
- (3) 現地インタビューとその分析
- (4) 理論的整理

### 4. 研究成果

- (1) 途上国における母子健康、人身売買、国際養子縁組、児童労働、ストリート・チルドレン、子ども兵士、教育、経済制裁の問題について実証的事例研究を行った。
- (2) 「子どもの安全保障」概念を使うことで、分析概念としての「人間の安全保障」の有効性増進に貢献した。
- (3) BHN 概念と国際レジーム論が「子どもの安全保障」にとって理論的支柱になることを明らかにした。
- (4) 「子どもの安全保障」概念にもとづいて、パワー・ポリティクス、内戦、世界システム、グローバル化、近代化などの国際関係理論の有効性に一定の枠をはめたこと。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

- ① 香川孝三、ベトナムのストリート・チルドレンをめぐる諸問題、『山口浩一郎先生古希記念論文集・友愛と法』有斐閣、査読無、2007、pp. 389-408.
- ② 柄谷利恵子、女性労働者の「安全」と「不安全」：国家・地域・グローバル、植木俊哉・土佐浩之編『国際法・国際関係とジェンダー』東北大学出版会、査読有、2007、pp. 273-298.
- ③ 初瀬龍平、グローバル化する国際社会、初

瀬龍平・野田岳人編『日本で学ぶ国際関係論』法律文化社、査読無、2007、pp. 170-178.

- ④ 香川孝三、アジア労働法・労働問題の最新情報、季刊労働法、査読無、221号、2008、pp. 218-226.
- ⑤ 柄谷利恵子、グローバル化とシティズンシップ：移住労働者と越境する世帯、日本国際政治学会編『日本の国際政治学：国境なき国際政治』、査読有、2009、pp. 95-114.
- ⑥ 池尾靖志、基地周辺の子どものたのしみのおかれた現状：普天間第二小学校の児童たちから垣間見える普天間基地返還、立命館平和研究、査読有、10号、2008、pp. 65-74.
- ⑦ Hiromi Ichikawa、Children after the war: long lasting sufferings and invisible threats, 松尾雅嗣先生退官記念・平和研究センター研究報告シリーズ、査読無、2009、pp. 255-271.
- ⑧ 堀芳枝、タイと子どもの人権-難民・移民・エスニック・マイノリティの子どもから考える、平和研究、査読無、34号、2009年、pp. 21-44.

[学会発表] (計 9 件)

- ① 杉木明子、北部ウガンダにおける紛争と子ども兵士の社会復帰、日本アフリカ学会、2008年5月25日、龍谷大学。
- ② 杉木明子、北部ウガンダにおける紛争と市民社会組織の可能性、日本国際政治学会、2008年10月24日、つくば国際会議場。
- ③ Ikeo Yasushi, Ogawa Akihiro, The SDF, the US Military, and Everyday Life: Protecting the Right to Live Peacefully in Takae, Okinawa, the Association for Asian Studies, Annual Conference, 2009年3月27日、Chicago, USA.
- ④ Yasushi Ikeo, Civil Society against Masculine State: Anti-Base Movement in Japan as War of Position, International Conference of Asian Scholars, 2009年8月9日、Daejeon, South Korea.
- ⑤ 堀芳枝、タイ北部のストリートチルドレンと政府・NGO、日本国際政治学会、2009年11月7日、神戸国際会議場。
- ⑥ 戸田真紀子、教育を受けられない子どもたち-ケニア共和国北東州ガリッサ県を例として-、日本国際政治学会、2009年11月7日、神戸国際会議場。
- ⑦ 松下洋、アルゼンチンのストリート・チルドレン、日本国際政治学会、2009年11月8日、神戸国際会議場。
- ⑧ 杉木明子、シエラレオネ内戦と「子ども兵士」の社会統合、日本国際政治学会、2009年11月8日、神戸国際会議場。

- ⑨ 菅英輝、対イラク経済制裁とイラクの子どもたち—知られざる「大量破壊兵器」、日本国際政治学会、2009年11月8日、神戸国際会議場。

〔図書〕(計5件)

- ① 戸田真紀子、お茶の水書房、アフリカと政治：紛争と貧困とジェンダー、2008、212頁。
- ② 初瀬龍平、戸田真紀子、松田哲、市川ひろみ、堀芳枝、松下洋、香川孝三、杉木明子、中西久枝、定形衛、菅英輝、米田真澄、三砂ちづる、柄谷利恵子、お茶の水書房、国際関係のなかの子ども、2009、233頁。
- ③ 初瀬龍平、菅英輝、池尾靖志、市川ひろみ、杉木明子、中西久枝、定形衛、香川孝三、堀芳枝、戸田真紀子、松下洋、嘉本伊都子、三砂ちづる、米田真澄、柄谷利恵子、松田哲、平成19-21年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書、「子どもの安全保障」の国際学的研究—子どもの日常性回復をめざして—、2010、355頁。
- ④ 香川孝三、明石書店、グローバル化の中のアジアの児童労働、2010、240頁。
- ⑤ 松下洋、戸田真紀子、初瀬龍平他、晃洋書房、現代社会研究入門、2010、70-84、213-226、242-255頁。

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況(計◇件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

(1) 研究代表者

初瀬 龍平 (HATSUSE RYUHEI)  
京都女子大学現代社会学部・教授  
研究者番号：40047709

(2) 研究分担者

三砂 ちづる (MISAGO CHIZURU)  
津田塾大学学芸学部・教授  
研究者番号：70342889  
堀 芳枝 (HORI YOSHIE)  
惠泉女学園大学人間社会学部・准教授  
研究者番号：30386792  
杉木 明子 (SUGIKI AKIKO)  
神戸学院大学法学部・准教授  
研究者番号：40368478  
戸田 真紀子 (TODA MAKIKO)  
京都女子大学現代社会学部・教授  
研究者番号：40248183  
松田 哲 (MATSUDA SATORU)  
京都学園大学法学部・教授  
研究者番号：80319441  
松下 洋 (MATSUSHITA HIROSHI)  
京都女子大学現代社会学部・教授  
研究者番号：60065464  
米田 真澄 (YONEDA MASUMI)  
神戸女学院大学文学部・准教授  
研究者番号：20411887  
柄谷 利恵子 (KARATANI RIEKO)  
関西大学政策創造学部・教授  
研究者番号：70325546  
(H20→H21：連携研究者)  
香川 孝三 (KAGAWA KOZO)  
大阪女学院大学国際・英語学部・教授  
研究者番号：20019087  
嘉本 伊都子 (KAMOTO ITSUKO)  
京都女子大学現代社会学部・准教授  
研究者番号：50340443  
(H20 から参加)  
中西 久枝 (NAKANISHI HISAE)  
名古屋大学大学院国際開発研究科・教授  
研究者番号：40207832  
菅 英輝 (KAN HIDEKI)  
西南女学院大学人文学部・教授  
研究者番号：60047727  
池尾 靖志 (IKEO YASUSHI)  
立命館大学・非常勤講師  
研究者番号：20388177  
市川 ひろみ (ICHIKAWA HIROMI)  
今治明德短期大学別科調理専修・教授  
研究者番号：50281754  
定形 衛 (SADAKATA MAMORU)

名古屋大学大学院法学研究科・教授  
研究者番号：20178693  
大矢根 聡 (OYANE SATOSHI)  
同志社大学大学院法学研究科・教授  
研究者番号：40213889  
(H19→H20：連携研究者)